

あるものは、ある。武蔵村山市

ムサブラ
MUSASHIMURAYAMA BURARUKI

武蔵村山のフード&ヒストリー体験 コースマップ

西エリア
東エリア



武蔵村山市魅力づくり推進事業
PRキャラクター「むむちゃん」



むむっ!
専用アプリを使って
あなただけのステキな
「ムサブラストーリー」を
つくってシェアしてね!

「ムサブラ」が楽しく、
魅力的になる専用アプリの
ダウンロードはアプリストア
で「ムサブラ」と検索!
QRコードはコチラ!

iPhone版
ダウンロード



Android版
ダウンロード



- ◆◆◆ 裏面に解説あり
- ヒストリーなど(解説なし)
- ★ フードなど(解説なし)

西エリア

このコースのお題

- 謎① なぜ味にコクミがあるのか
東京狭山茶?
- 謎② なぜ村山で大島紬?
- 謎③ なぜ東京なのにこんな秘境?
- 謎④ なぜここに温泉が?

西コース

網代園→→村山織物協同組合→→昼食→→
村山温泉かたくりの湯←←狭山丘陵←←里山民家

東エリア

このコースのお題

- 謎① 武蔵村山のむかしは海だった?
- 謎② 武蔵村山といえば村山うどん?
- 謎③ トンネル群のヒミツとは?
- 謎④ 東京でなぜ“みかん”なの?

東コース

武蔵村山市立歴史民俗資料館→→野山北公園→→昼食
小林農園←←横田トンネル他、トンネル群←←←



魅力マイスターと
“ムサブラ”しながら
武蔵村山の魅力と謎を
解き明かそう!っむむ

問い合わせ先:武蔵村山市 観光課 042-565-1111(内線225)

武蔵村山市の見どころ紹介

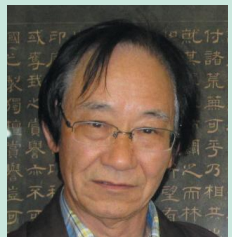
アプリ登場!マイスターの皆さん



狭山丘陵さんぽフォトグラファー
坂下 智浩氏



協働推進部長
山田 義高氏



網代園製茶所
網代 進氏



村山織物協同組合理事長
高山 金之助氏

アプリ登場!マイスターの皆さん



郷土史家
石川 伊三郎氏



小林農園
小林 卓矢氏



むさしの化石塾代表
福嶋 徹氏



村山うどんの会会長
志々田 陽介氏

◆武蔵村山市について

狭山丘陵は小さな峰が連なっていることから「群山」と呼ばれ、それが「村山」の地名に転訛したといわれています。中世の時代に狭山丘陵周辺地域村山郷を根拠としていた武士団も村山党を名乗っており、村山郷が市名の由来となっています。

江戸時代には中藤・横田・三ツ木・岸の4ヶ村が存在し、大正6(1917)年に村山村、昭和29(1954)年に村山町、昭和45(1970)年に武蔵村山市となりました。

平成30年11月現在の人口は約72,000人で、狭山丘陵の自然に恵まれた緑豊かな都心のベッドタウンとなっています。



武蔵村山市役所

西エリア

東エリア

◆市立野山北公園

武蔵村山市が管理する部分と東京都が管理する部分とに分かれていますが、公園エリアとしては都立野山北・六道山公園の範囲に含まれています。園内には、プールや釣り池のほか、フィールドアスレチックが体験できる冒険の森・あそびの森があります。

また、春に咲かたくりの花の群生地には大勢の人が訪れています。



◆村山温泉「かたくりの湯」

村山温泉「かたくりの湯」は、武蔵村山市の観光資源として平成14年4月にオープンした天然温泉です。

狭山丘陵南麓の地下約1500mから汲み上げた温泉とスパゾーンを備えた施設は、武蔵村山市を代表するスポットとして市内外の多くの方に親しまれています。



◆東京狭山みかん

武蔵村山市にはみかん栽培に適した狭山丘陵南側の斜面が広がっており、昭和30年代の始めから宮川早生という品種のみかん栽培が始まり、半世紀以上の歴史があります。市内のみかん園では、毎年11月上旬から下旬にかけて都内近郊から多くの家族連れなどがみかん狩りに訪れ、市場に出回らない幻のブランド「東京狭山みかん」の味を楽しんでいます。



◆武蔵村山市立歴史民俗資料館

常設展示では、武蔵村山の自然、歴史、民俗について詳しく紹介しています。丘陵(ヤマ)と台地(ハラ)で営まれてきた人々の歴史や民俗などについて詳しく知ることができます。狭山丘陵で見つかった化石の標本や軽便鉄道のコーナーも必見です。

開館時間/
9:00~17:00
休館日/
毎月第1月曜日、毎月第3水曜日、年末年始
電話/042(560)6620



◆ダイダラボッチの井戸

武蔵村山にはダイダラボッチという巨人伝説が伝えられており、市内にはダイダラボッチが歩いた足跡とされる井戸が残っています。

武蔵村山を代表するイベントとして毎年10月下旬に開催している「村山デエダラまつり」は、この伝説の巨人にちなんだ大きなネプタの山車が登場し、会場を盛り上げています。



◆里山民家

狭山丘陵周辺に実在した江戸時代の民家を新築・復元した「母屋」を中心に「蔵」、「納屋」、「作業小屋」などがあり、里山を満喫できる、楽しいイベントを実施しています。「茅葺き屋根」や「いろり」、「かまど」など、昔ながらのものがたくさんあります。

利用時間=9:00~16:30(3~9月は17:00まで)
休館日=年末年始



◆村山織物協同組合事務所

大正時代から村山大島紬の産地として広く知られ、機屋や絣板製造業者が多く営業しておりました。これらの織物業者等が同業者組合を組織し、製品の品質管理、販路の確保に努めてきました。組合事務所は、地域の織物業の全盛期であった昭和3年に建てられ、館内には織物資料室があり、見学できます。また、建物は市の指定文化財となっています。



◆村山かてうどん

武蔵村山の地域と「うどん」との関わりは古く、江戸時代末期に中藤村の陰陽師であった指田撰津が書き遺した「指田日記」の中にも度々うどんを食していたことが記されています。平成18(2006)年、市内の有志が「村山うどんの会」を結成し、「村山うどん」を発信して武蔵村山の魅力を市民の手で創造するために活動しています。村山うどんの会ホームページ<http://www.m-udon.com>



◆軽便鉄道線路跡・トンネル群

大正時代から昭和初期にかけて、狭山丘陵内に村山貯水池(多摩湖)・山口貯水池(狭山湖)を建設するために敷設された軽便鉄道(羽村・山口線)の線路跡とトンネル群(横田・赤堀・御岳・赤坂)が残っており、現在は野山北公園自転車道として整備されています。春には、自転車道を彩る桜並木が見事です。



◆眞福寺

龍華山清浄光院眞福寺は、和銅3(710)年に行基によって創建されたと伝わる真言宗豊山派の古刹です。観音堂には百体観音が安置され、狭山三十三観音の20番札所となっています。現在の本堂は安永7(1778)年の建立とされ、天保10(1839)年頃に石川文松によって描かれた格天井花鳥画は市の有形文化財に指定されています。また、山門に収められている寛永15(1638)年の鐘銘のある梵鐘も同じく市の有形文化財に指定されています。



◆庚申塔

「庚申の日、三尸虫が神様に悪事を告げ口する。これを防ぐために徹夜で番をする」という三尸説に基づく庚申信仰が江戸時代に盛んに行われていました。

人々は、村の外から村の中へ悪しき者の侵入を防ぐために青面金剛や、猿を彫った庚申塔を建てました。現在、市には約20基庚申塔があります。

写真提供: 坂下 智浩



◆禅昌寺

岸清山禅昌寺は、臨済宗の禅寺で、室町時代の正長元年(1428)恵山和尚によって開山されたと伝えられています。観音堂は文禄3年(1594)の創建と伝えられ、狭山二十四番の札所となっています。境内には、少飛の塔があります。太平洋戦争時、市内にあった東京陸軍少年飛行兵学校の多くの生徒が命を落としました。供養のため卒業生が平成2年に建立したものです。



◆東京狭山茶

埼玉県との県境、武蔵村山市から瑞穂町、青梅市、東大和市にかけての地域は、江戸時代から茶どころとして知られています。作られているのは狭山茶ですが、東京都のものは埼玉のものとは区別するため、昭和中期に『東京狭山茶』と名付けられました。茶摘みは、春と夏の2回と国内のほかの産地より少なく、その分コクと旨みのあるお茶になると言われています。



◆狭山丘陵の化石

武蔵村山市がある狭山丘陵の周辺地域は、今からおよそ200万年前は遠浅の海が広がっていたと考えられており、その証拠として狭山丘陵の斜面では、貝類やエビの仲間などの生物の化石が数多く発見されています。武蔵村山を訪れて、地球の誕生から現在まで続く悠久の歴史の息吹を感じてみてください。

写真提供: むさしの化石塾



◆長円寺

龍沢山長円寺と号する永禄11(1568)年に華山秀呑和尚によって開山された曹洞宗の寺です。

本尊は釈迦如来で、境内には江戸時代に三ツ木村を領していた旗本大河内氏の墓があり、市指定の旧跡です。毎年4月29日には、長円寺から横田・中村・馬場地区を巡る横中馬獅子舞(市指定無形民俗文化財)が行われます。

